

目次	・MRIが新しくなりました	・・・1	・高額療養費の上限が変わりました	・・・5
	・地域医療研修を終えて(8月)	・・・2	・Let's骨粗しょう症予防！！	・・・6
	・地域医療研修を終えて(9月)	・・・3	・新入職員紹介	・・・7
	・シャント管理の重要性	・・・4	・外来診療表	・・・8



MRIが新しくなりました

放射線科部長 本田 伸



当院ではこの度、キャノンメディカル社製の3.0テスラMRI装置「Vantage Galan3T Saturn X」を新たに導入致しました。この機種は国内での第1号機で、最新鋭のMRI装置です。

MRIとはMagnetic Resonance Imaging(磁気共鳴画像)の略で、トンネルのような筒型の大きな磁石の中に入り、特定の周波数を持った電波を身体に当て、身体のいろいろな角度の断面像を得る検査です。レントゲンやCTと違って放射線を使用しないので、被ばくは全くありません。

みなさまはMRIというと、「中が狭い」「検査の音がうるさい」「検査時間が長い」といった印象をお持ちだと思います。しかし、今回導入しましたMRIはこれらの点を改善し、患者様に優しい検査環境を実現しています。

まずは、検査の時に入っていただくMRIの空間ですが、開口径が71cmとこのタイプのMRIではもっとも広く、狭い空間がちよっと苦手とおっしゃる方や、小さなお子様でも安心して検査を受けていただくことができ

る設計となっています。それに加え、検査空間の中に設置したドーム型のスクリーンに、風景など臨場感のある映像を映し出す「MRシアター」という最新の映像技術を搭載しており、広々とした明るい、心安らぐ空間の中で検査を受けることができます。

次に検査中の音ですが、「ピアノツシモ ゼン」という最新の静音化技術を搭載しており、検査時の騒音を従来のものよりもかなり低減させています。したがって、これまでの装置に比べて非常に静かで、専用のヘッドフォンから心地よい音楽も流れており、リラックスして検査を受けることができます。

検査時間も、さまざまな技術によりひとつひとつの撮像時間や技師による操作の時間が短縮し、それによりトータルの検査時間もこれまでより短くなっています。検査内容によっては従来の検査時間の半分で終わるものもあります。

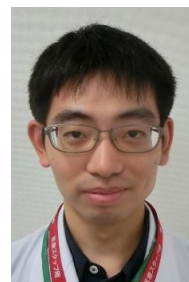
この新しいMRIの導入により、地域のみなさまにこれまで以上に質の高い、そして満足いただける医療を提供できるものと考えております。





地域医療研修を終えて（8月）

研修医 平 明彦



季節は色鮮やかな秋へと移ろい、徐々に涼しくなりつつある日々、いかがお過ごしでしょうか。8月の1ヶ月間、地域医療実習として菊池郡市医師会立病院に参りました九州大学病院研修医2年目の平と申します。

思えば7月、避暑地で地域医療の研鑽を積んでいきます！と周りに言いふらしておりましたが、7月31日に菊池郡市医師会立病院へ到着した際、日光にジリジリと炙られ、福岡より蒸し暑い！と思いました。菊池渓谷の涼しげなイメージが強く、軽はずみな言動を深く反省した初日でした。

冗談はさておき、1ヶ月の総まとめとして、患者様・地域の皆様へ研修で学んだ事をご報告いたします。地域医療の研修ということで、病院内での業務の他に、宮本内科クリニックでの外来業務と訪問診療、菊池保健所での生活保護審査会や高齢者で増えている結核の審査会などを経験させて頂きました。

救急外来での研修では、各種検査の結果、専門的な処置が必要であり、他の病院へ転院した症例を担当し、近隣病院ごとの役割というものを感じました。また、院内の業務では、急性期の大病院から治療後のリハビリテーション目的で紹介となり、入院した患者様を担当することがあり、自宅へ退院となるまでの医療の流れに携わることができました。健診センターでの研修では、どうすれば少しでも食生活を見直して頂けるかを考え、悩みました。院外の研修としては、同じ患者様の訪問看護と訪問診療を体験しました。看護師と医師の双方の視点を経験し、訪問時に行う数多い処置があり、在宅医療のサポートには他職種からの関わりが必要なのだと実感しました。

保健所での研修では、本人やご家族の病気と生活が密接に関わり合い、病気を契機に生活保護を申請せざるを得なくなるケースが多い事を肌身に感じました。医師は病気を治す専門家ですが、今後は自分の担当患者さまの仕事や生活の面も考えて参ります。丁寧に説明をして頂き、保健所の方々には大変お世話になりました。有難うございました。

印象に残っている出来事があります。仕事が終わらず遅くなった日のこと。あるクリニックの先生が病棟へ来られておりました。クリニックから当院へ紹介し入院となった患者さん一人一人に会うために来られておりました。病院と地域のクリニックとの連携、信頼関係を感じました。

休みの日には、菊池渓谷の冷たい水に足をつけたり、周辺を歩きながら写真を撮り歩いたり、周湯券を使っていくつもの温泉に入ったりして過ごしました。道を歩けば常に水の流れる音が聴こえ、上を見上げれば大きな空が広がっていて、朝はコケッコウという鶏の鳴き声で起き、とても心地よい生活を送ることができました。

これまで研修してきた大学病院とは、大きく異なる医療の現場を見て経験することができました。研修医を快く受け入れて下さった患者様・ご家族の方に感謝申し上げます。また、ご指導いただいた先生方、その他の様々な職種の病院関係者の方々に心より御礼申し上げます。

もうしばらくの間この病院で働き、学びたいと思うほど、多方面に渡る素晴らしい経験をさせて頂きました。この経験を今後の自分自身の医療に活かして参ります。どうも有難うございました。菊池温泉の周湯券が余っておりますので、また菊池を訪れます！





地域医療研修を終えて（9月）

研修医 友野 真琴



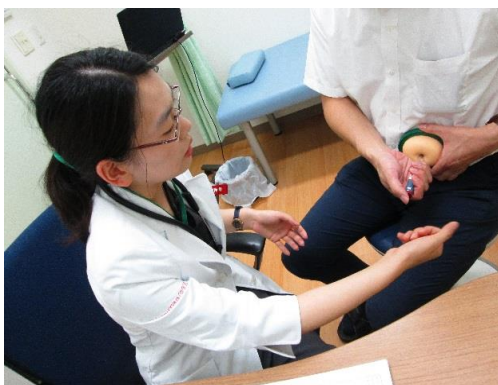
熊本大学医学部附属病院研修医（現在、2年目を熊本赤十字病院で研修中です）2年目友野真琴と申します。この度9月の1ヶ月間を地域研修としてお世話になりました。

研修所属の大学病院や熊本赤十字病院のその先の医療について、今回の研修では学ぶことが多かったです。今回リハビリ中心の患者さまを担当させて頂いたり、さらに訪問診療や訪問看護、施設への回診等を通して学ばせて頂きました。リハビリから自宅に退院するために必要な診療はもちろんのこと、住宅の環境整備や介護保険、デイサービスの利用等の環境の整備をすることの大変さ、大切さを実際の診療を通して見る事ができました。また、施設入所されている方の回診を通して、施設での医療がどのような方法で行われているのか、どのようなことに気をつけてケアが行われているのかを見ることができました。

また、宮本内科クリニックでは、外来見学・診察をさせて頂き、上は100歳、下は5ヶ月と幅広い年代の患者さんの細かな変化を拾い上げる地域のかかりつけ医の役割の重要性を感じることができました。この1ヶ月は入院だけではなく、退院後の外来フォローの際の診察をさせて頂くことができ、退院後の経過を見ることができたのもとても良かったです。退院後の病態がどのように変わっていくのか、また生活の様

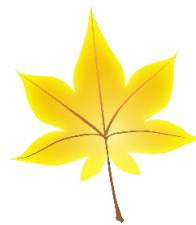
子を知ること、実際どのようなことを気にして過ごしているかのお話を診察時にすることができ、入院中から気をつけておいた方が良かったことや退院時に説明しておいた方が良かったことをより明確にすることができたように思います。健診では小児の生活習慣病に関する審査会に参加させて頂いたり、実際の内科診察を担当させて頂きました。予防的な観点から日常生活で気をつけるべきことをお話しする中で気づくことが多々ありました。保健所の事業に関しては、生活保護審査会や結核審査会に参加させて頂きました。複雑な事例にどのように医療が関わっているのかを普段とは違った面から見る事ができ、社会的な面の支援の必要性を実感しました。

このように、盛りだくさんの内容で普段とはひと味もふた味も違う診療をさせて頂いてとても充実した1ヶ月でした。今後は、より先の医療まで思考を広げながら診療にあたっていきたいと思います。本当にありがとうございました。





シャント管理の重要性



臨床工学科（透析）

～シャントについて～

血液透析治療は、腎不全で体に溜まった水や老廃物を除去し血液を正常化する治療です。血液透析を円滑に行うには、血液を1分間に約150ml～250ml体外に導き出さなければなりません。そのため、動脈と静脈を吻合したシャント又はバスキュラーアクセス(以下VA)を外科的に造ります。VAは血液透析患者様が治療を受け続けるために必要不可欠なものであり、まさに「命綱」と言えます。そのため、VAを管理することは透析治療を行う上でとても重要になります。

当院では、臨床工学技士が定期的に「VAエコー検査」を実施しVA管理に努めています。

平成30年9月現在PTAは171名/4年、VAエコー701件/4年を行いました。

【VAエコーの導入対象】

- ①透析中の脱血不良がみられる方
- ②VAの閉塞や狭窄の疑いがある方
- ③経皮的血管形成術(PTA)の前
- ④PTA後、3ヶ月おき(3.6.9.12ヶ月)
- ⑤グラフトの方は、トラブルがなくても3ヶ月に1回エコー実施
- ⑥VAトラブルがない方は、1年に1回エコー実施



エコー下穿刺

【エコー下穿刺の導入対象】

- ①穿刺困難の方
- ②透析導入期のシャントの発達不足の方
- ③動脈表在化

【VAエコー・エコー下穿刺を導入して変化したこと】

VAマップの活用によりスタッフ間での情報共有が図れ、穿刺時に血管の選択がしやすくなり誤穿刺が減りました。

エコー下穿刺を行うことで穿刺困難の方の穿刺ミスの減少・患者様の痛み・ストレスの軽減に繋がっています。

【今後の方針】

院内の臨床工学技士全員がエコー下穿刺を行えるように努め、患者様により良い透析治療提供できるように努めていきます。





平成30年8月から 70歳以上の「高額療養費 上限額」が変わりました 地域医療連携科

【高額療養費制度とは】 ひと月に支払った医療費が高額になり、決められた上限額を超えた場合に、上限額を超えてお支払いいただいた分を払い戻す制度です。上限額は、個人もしくは世帯の所得に応じて決まっています。

平成30年7月まで(月額)

所得区分	外来	外来+入院
現役並み所得	57,600円	80,100円 総医療費が267,000円を超えたときは 越えた分の1%を加算 ※ 44,400円
一般世帯	14,000円 年間限度額 144,000円	57,600円 ※ 44,400円
低所得Ⅱ	8,000円	24,600円
低所得Ⅰ		15,000円



平成30年8月から(月額)

所得区分	外来のみ	外来+入院
現役並み所得		Ⅲ 252,600円 総医療費が842,000円を超えたときは 越えた分の1%を加算 ※ 140,100円
		Ⅱ 167,400円 総医療費が558,000円を超えたときは 越えた分の1%を加算 ※ 93,000円
		Ⅰ 80,100円 総医療費が267,000円を超えたときは 越えた分の1%を加算 ※ 44,400円
一般世帯	18,000円 年間上限額 144,000円	57,600円 ※ 44,400円
低所得Ⅱ	8,000円	24,600円
低所得Ⅰ		15,000円

- ・食事代・個室代・おむつ代は別途掛かります。
- ・※ 過去12カ月以内に3回以上、上限額に達した場合は4回目より上限額が下がります。
- ・低所得の方は「限度額適用・標準負担額減額認定証」が必要になります。
- ・総医療費は10割負担の金額です。



Let's 骨粗しょう症予防!!



○骨粗しょう症とは？

骨粗しょう症とは、長年の生活習慣などにより骨の量が減ってスカスカになり、骨折を起こしやすくなっている状態、もしくは骨折をおこしてしまった状態のことをいいます。閉経期以降の女性や高齢の男性に多くみられますが、若い人でも栄養や運動不足、ステロイド剤などの影響でなることもあります。生活習慣病の一つと考えられています。

○骨粗しょう症の原因は？

骨は固いので一度つくられると変化しないようにみえますが、実際は絶えず新陳代謝をしています。丈夫でしなやかな骨を保つためには、古い骨を壊し、新しい骨に作り変える必要があるのです。これを骨代謝といいます。ところが、骨のもとになるカルシウムの摂取が不足したり、身体が老化して骨をつくるためのホルモンが不足してくると、骨をつくる量より骨を壊す量の方がおおくになります。こうして骨からカルシウムが徐々に減り、骨がスカスカになっていきます。

○どんな人がなりやすい？

年を重ねることにより、どんな人でも骨の量は減ってきます。しかし、減りやすい体質や、生活のしかたが関係していますので、個人差がでできます。まず、骨粗しょう症は女性に多くみられる病気です。これは女性の方がもともと骨が細いうえに、閉経によって骨をつくるもとになる女性ホルモンの分泌が減ることがあげられます。

このほか、以下のような危険因子があります。

- ① 遺伝に関係するもの
(閉経の時期、痩せ型、家族歴)
- ② 生活に関係するもの
(偏食、運動不足、アルコール、コーヒーの多飲、喫煙、日光照射不足)
- ③ 病気に関係するもの
(胃切除、糖尿病、甲状腺機能亢進症、高カルシウム尿症、腎不全など)

○予防するには？

カルシウムとカルシウムの吸収を助ける**ビタミンD**を多く含む食品をとることが大切です。カルシウムは乳製品や大豆製品、小魚、緑黄野菜、海藻などに多く含まれています。いろいろな種類の食品をバランスよく食べることを基本にして、そのうえでカルシウムの摂取を意識して行うことが望まれます。

骨を丈夫にするためには運動も大切です。運動は骨の血液の流れをよくなり、骨をつくる細胞の働きを活発にします。散歩やゲートボールなどの趣味の範囲で充分なので、楽しみながら続けましょう。



新入職員紹介 (平成30年8月～10月)



3階病棟 (入浴介助)

河津 聡子

よろしくお願いします。



5階病棟 (看護師)

佐藤 友重

笑顔をもっとにがんばります。
よろしくお願い致します。



外来 (看護師)

樋口 博子

久しぶりの仕事復帰で緊張しています。慣れないことも多く、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。



居宅介護支援事業所
(ケアマネージャー)

佐藤 久則

明るく元気に職務に取り組んでいきます。



居宅介護支援事業所
(ケアマネージャー)

松本 美佐子

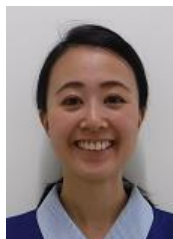
初めての業務でいろいろ分からないことがあります。よろしくお願いします。



デイケアセンター (看護師)

栗原 和美

利用者さん一人一人と向きあい、
笑顔で頑張りたいと思います。



デイケアセンター(介護職)

中田 あかり

大学卒業後、スペインに4年間住んでいました。介護の仕事は初めてですが、利用者の方と毎日楽しく過ごしています。本が好きなので、よく中央図書館に行きます。

編集後記



今年の夏も、全国的に猛暑で、台風・豪雨など自然災害の恐ろしさを感じた夏でした。また、北海道では大きな地震がありましたね。9月1日は防災の日でしたが、備蓄などの備えはされていますでしょうか？熊本地震から2年半が経ちました。日頃から、緊急事態を想定し、対策を立てておくことが大切になります。今一度、家族間の連絡の取り方や備蓄などを確認してみましょう。

お知らせ



「第6回世界糖尿病デーinきくち」

平成30年11月4日(日)

10:00～16:00

菊池市生涯学習センター

KiCROSS-キクロス- 2F

今年はキクロスの1周年記念イベントとの同時開催です。SATシステムを使った栄養指導、血糖・血管年齢・体重・身長・血圧測定、お薬の相談など、専門のスタッフが対応します。

皆様のご来場をお待ちしております。



菊池郡市医師会立病院 外来診療表

	午前/午後	月	火	水	木	金	土
総合内科	午前	松田 浩治	沖 尚史 松田 浩治	松田 浩治		沖 尚史	松田 浩治
糖尿病センター 代謝内分泌科	午前	瀬ノ口 隆文 (熊大 代謝内科) 古賀 荒太郎	豊永 哲至		豊永 哲至 大津 可絵 (熊大 代謝内科)	古賀 荒太郎	豊永 哲至
循環器内科	午前	予約	石坂 浩	古賀 敏	石坂 浩	山下 享芳 (熊大 循環器内科)	古賀 敏
		新患	古賀 敏	石坂 浩	古賀 敏	山下 享芳 (熊大 循環器内科)	石坂 浩
腎臓内科	午前				井上 秀樹 (熊大 腎臓内科)	緒方 智博	
消化器内科	午前	石田 隼一 (※11/1から)			門野 義弘 (済生会熊本病院) または 石田 隼一	熊大 消化器外科	
神経内科	午前			井上 泰輝 (熊大 神経内科)			
整形外科	午前					徳永 琢也 (熊大 整形外科)	
放射線科 (CT・MRI)	午前/午後	本田 伸	本田 伸	本田 伸	本田 伸 上谷 浩之 (熊大 放射線科)	本田 伸	熊大 放射線科

当院は「紹介型の病院」です。受診に際しましては、「かかりつけ医」の「紹介状」を原則必要とします。
ただし、救急の場合はその限りではありません。検査は予約制となります。

外来受付時間 8:00 ~ 11:30

救急患者の方につきましては、上記以外の時間にも対応しています。

【病院理念】

かかりつけ医の先生方と連携して、地域の皆さまに信頼され、愛される病院を目指します。

【基本方針】

- ・ チーム医療と地域連携に努めます
- ・ より良い医療の提供を目指し、研修・研鑽に努めます
- ・ 自己満足に陥ることなく、業務改善に努めます
- ・ 病院の健全な運営を目指します



一般社団法人 菊池郡市医師会

菊池郡市医師会立病院

〒861-1306 熊本県菊池市大琳寺75番地3

TEL:0968-25-2191 FAX:0968-24-5762 <http://www.kikuchi-hosp.com/>

発行責任者：病院長 豊永 哲至

